

2023女性に対する暴力をなくす運動

自己責任論から考える貧困と暴力 一面前DVから逃れて



女性に対する暴力はコロナ禍においてさまざまな形で顕在化しました。生理の貧困が社会問題した際、「ナプキン代の数百円が出せないほどの貧困ならとくに死んでる」「化粧して遊んでいる中高生がナプキンを買えないなんて嘘」など、「生理の貧困叩き」が加熱し、自己責任論が再燃しました。

自己責任論は弱い者いじめの暴力的な構造にほかなりません。暴力が人生にもたらす影響について問題提起します。

11月11日(土) 開場13:00

■会場：**すてっぴホール** 阪急電鉄宝塚線豊中駅直結「エトレ豊中」ビル5階

■定員：70人(要申込み/先着順) ■参加費：無料 ■申込書：裏面

■参加申込み：10/5(木)10:00より、電話・FAX・窓口・メール・Webフォームにて受付

■一時保育：1歳～小学3年生/申込期限：11/4(土) 15:00/子ども一人につき550円(税込み)

▼お申込・問い合わせ

TEL 06-6844-9773 FAX 06-6844-9706 kouza@toyonaka-step.jp 〈講座担当〉



【主催】とよなか男女共同参画推進センター**すてっぴ**

(指定管理者：一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団)

〒560-0026 豊中市玉井町1-1-1-501(水曜休館)

<https://www.toyonaka-step.jp/>



- ◎ 高校の制服が買えない
- ◎ お金がかかるから部活に入れない
- ◎ 中古1円の参考書で受験勉強
- ◎ 友人からのプレゼントにプレッシャーを感じる
- ◎ 医療費が不安で自主退院

『死にそうだけど生きてます』から抜粋

ヒオカ (ライター)

1995年生まれ。地方の貧困家庭で育つ。自身の体験を綴った「私が“普通”と違った50のこと～貧困とは、選択肢が持てないということ～」を書いたところ、話題を呼びライターの道へ。“無い物にされる痛み”に想像力を“を”モットーに弱者の声を可視化するために取材・執筆活動を行う。著書に『死にそうだけど生きてます』(CCCメディアハウス)がある。



お申込み
フォーム

FAX:06-6844-9706

メール:kouza@toyonaka-step.jp

下記に記入し、送信してください。

※FAXの受信後、担当者から確認の電話をします。
1週間以上電話がない場合、すてっぷまで電話か
メールでお問合せをお願いします。

11/11(土) 2023女性に対する暴力をなくす運動
自己責任論から考える貧困と暴力 面前DVから逃れて

名前(ひらがな)		年代	10代・20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・80代以上
住所	〒 _____	※町名までご記入ください。	
連絡先	電話		
	メール		

▼一時保育:子ども一人につき 550円(税込み) 定員:10人・先着順

持ち物:手拭きタオル・着替え・お茶(すべてにお名前を書いてください)

<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	お子さんの名前(ひらがな)	年齢	歳	ヵ月
11/4(土)15:00 締切	* 保育の経験 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 初めて	* おむつ	<input type="checkbox"/> している	
		* トイレ	<input type="checkbox"/> いえる	<input type="checkbox"/> いえない

▼質問があればお書きください。(当日時間の関係で、すべてにお答えできない場合があります。)

☆豊中市内在住を問わず、どなたでもご参加いただけます。

☆提供された個人情報、すてっぷ主催事業の運営や募集案内の目的において以外、他の目的には一切使用しません。

☆申込後にキャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。

すてっぷを活用しよう! 豊中市民以外の方も、ご利用頂けます!



就労支援スペース
「すてっぷα」



情報ライブラリー



自習室
Myすてっぷ



貸ホール
貸会議室



とよなかフリーランス
MEETコミュニティ